

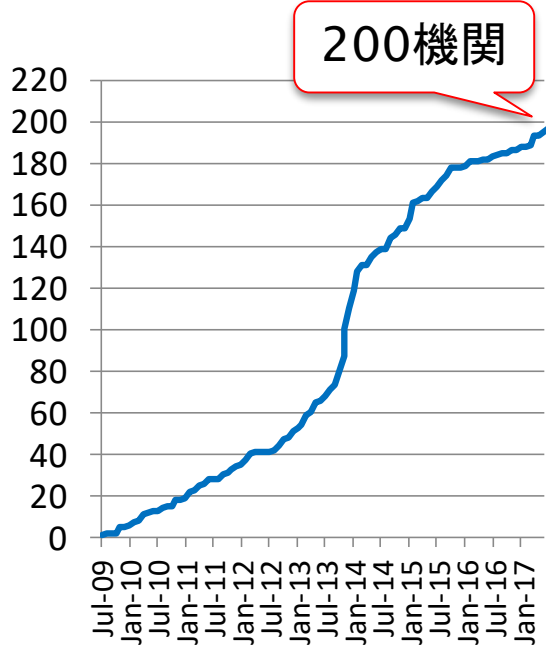


学認について

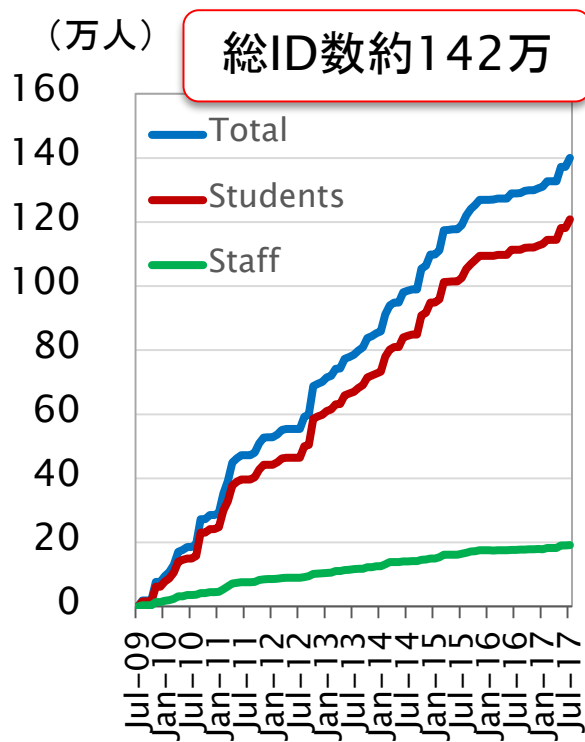
国立情報学研究所 2017年

IdP/SPの推移(2017/10現在)

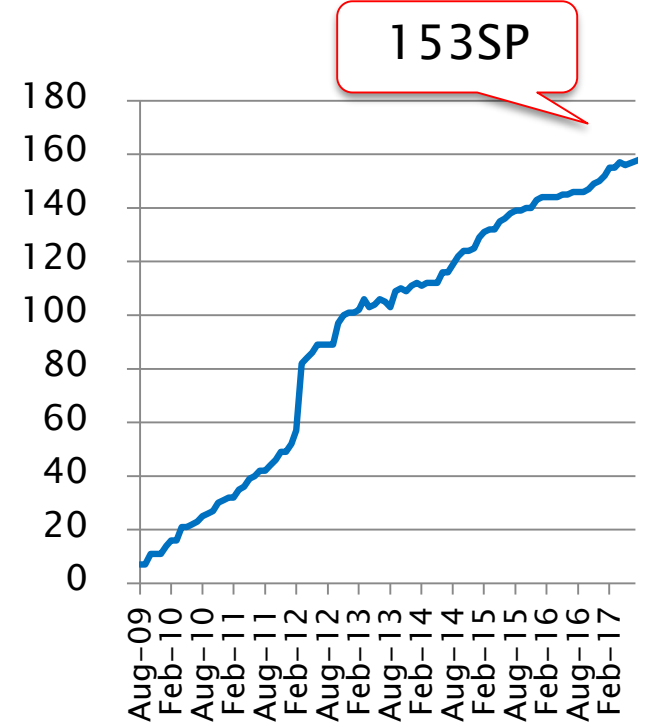
IdP機関数



IdPユーザ数



SP数



	国立大学	公立大学	私立大学	短期大学	高等専門学校	共同利用機関	その他	合計
学認参加数	67	17	54	0	51	1	10	200
カバー率	78%	19%	9%	0%	89%			
総機関数	86	91	600	343	57			



▶ IdP of the Year 2016

- ▶ 慶應義塾大学（6月のNIIオープンフォーラム2017にて表彰）
- ▶ IdPの適切な運用と, Shibboleth IdP Version 3へのアップグレードについての積極的な情報発信による, 学認への多大な貢献を評価

▶ 大学ICT推進協議会（12/13～15@広島国際会議場）

- ▶ AXIES認証連携部会企画セッションは 12月13日 午前開催

▶ FShare運用終了

- ▶ 今後はNII FileSenderをご利用ください。
- ▶ <https://filesender.nii.ac.jp/>
- ▶ 解説: <https://meatwiki.nii.ac.jp/confluence/x/2EhHAQ>



▶ NII FileSenderについて

- ▶ FShareの後継となる大容量ファイル転送サービス
- ▶ 受信側は学認による認証が不要
- ▶ 学認mAPを用いたグループ送信が可能
 - ▶ 学認mAPで作成したグループのメンバーへ一斉にファイルを送信できます
 - ▶ OpenIdPアカウントでは、グループ送信のみが可能
 - ▶ mAPのグループへの参加必須
 - 学認mAPについて: <https://meatwiki.nii.ac.jp/confluence/x/v4BT>
- ▶ ワンタイムアカウント発行によるファイル送信機能
 - ▶ 学認参加機関利用者が学認非参加機関利用者にワンタイムのゲストバウチャーを発行
 - ▶ 発行された一時アカウントでファイルを送信可能
- ▶ 利用例
 - ▶ 学認非参加機関との共同研究
 - ▶ 企業との共同プロジェクト



▶ 改正個人情報保護法の施行

- ▶ 平成27年9月成立、平成29年5月30日全面施行
- ▶ オプトアウトの手続きの厳格化
 - ▶ 私立大学でもuApproveJP等による属性送信同意機能の利用が推奨されます
- ▶ eduPersonTargetedIDも個人情報とみなされる可能性が高いため、ご注意ください

▶ eduGAINについて

- ▶ 各国/地域のフェデレーション間でメタデータを共有する仕組み
- ▶ 参加すると海外のフェデレーションから登録されたSPを使える
- ▶ IdP登録数:2500以上 SP登録数:1700以上
- ▶ 参加するには、学認申請システムで「eduGAINに参加する」にチェック
- ▶ 学認では月に2回、参加希望のあったIdP/SPをeduGAINに登録しています

▶ 学認参加IdP運用状況調査

- ▶ 今年も実施していますので、全参加機関様のご回答をお待ちしております
- ▶ 文部科学省からの依頼により、e-Radを学認連携させるための予備調査が含まれます。必ずご回答ください



▶ 新しい属性定義について

▶ 三つの属性が追加されました


- ▶ eduPersonAssurance : IDの保証レベルをURI形式で表す
- ▶ eduPersonUniqueid : フェデレーション内の利用者を永続的に一意に定める
再利用不可。ORCID連携等で利用される
- ▶ eduPersonOrcid : 利用者のORCID識別子をURI形式で表す

▶ Shibboleth IdP v3対応のTiqrリリース

- ▶ 導入方法はこちら:<https://meatwiki.nii.ac.jp/confluence/x/UgWy>



▶ 学認DS新バージョン

- ▶ 選んだ地域・カテゴリのIdPのみ表示する機能
- ▶ 近日リリース予定

(テストフェデレーション) 所属機関: 

地方区分: 全て 北海道 東北 関東 中部 近畿 中国 四国
 九州 その他

カテゴリ: 全て 大学 短大 高専 研究所 その他

所属している機関を選択   選択

ブラウザ起動中は自動ログイン [地図表示](#) [リセット](#)



- ▶ Shibboleth IdP ver3マイナーアップデートでの変更について
 - ▶ 設定ファイルに変更がありますので、ご注意ください。
 - ▶ v3.2系統: attribute-filter.xmlの名前空間のフラット化(プレフィックス不要化)
 - ▶ v3.3系統: attribute-resolver.xmlの名前空間のフラット化
 - ▶ 学認のテンプレートを使用している場合
 - ▶ 現在記載済みのものについては問題ない
 - ▶ これらのファイル内の表記に合わせた記述を追加するのは問題なし
 - ▶ 学認のテンプレートを使用していない場合
 - ▶ Web等に「設定例」として掲載されているものをそのまま転記すると問題が生じる場合あり
 - 適宜、設定内容の読み替えを行う必要がある
 - ▶ v3.1以前の場合: バグ等ありますのでアップデートしてください
 - ▶ 今後のShibboleth IdPの変更予定
 - ▶ **v4.0で名前空間のフラット化が強制され**、プレフィックスの使用ができなくなる予定です
 - 年末～年明け予定のv3.4でフラット化していないとDEPRECATEDのwarningとしてログに出力される
 - v4.0準備としてwarningが出なくなるまで設定ファイルを修正することを推奨
 - ▶ フラット化についてはこちら: <https://meatwiki.nii.ac.jp/confluence/x/F4Z7AQ>



ROCA脆弱性(RSA鍵が推測可能な問題)

- ▶ 学認メタデータの署名用証明書の秘密鍵が該当することが判明
 - ▶ サーバのストレージに保存せず、USBトークンで生成した秘密鍵を読み込む仕組み
 - ▶ 安全性を高めるために秘密鍵生成用USBトークンを使用していました
 - ▶ 秘密鍵生成用のデバイスが脆弱性をもつライブラリを使用
 - ▶ 秘密鍵と証明書の再生成が必要となりました。
 - ▶ 各機関におかれましては、後日手順を案内しますので、IdP/SPのメタデータ署名用証明書の変更と、メタデータDL用URLの変更をお願いいたします。
- ▶ 更新のための大まかな流れ(暫定版)
 - ▶ 11/2を目途に、脆弱性のない生成デバイスを用いて新しいメタデータ署名用証明書を再作成
 - ▶ メタデータに新しい証明書で署名
 - ▶ 現行の証明書で署名したメタデータと、新しい証明書で署名したメタデータを並行して公開(期間未定)
 - ▶ 並行公開中に、各機関のIdP/SPは新しいメタデータ署名用証明書と新しいメタデータに切り替えをお願いします。

ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願い申し上げます。